

の聖地」に選定している。大町市には「立山黒部NPO法人地域活性化支援センター（静岡市）は、県側玄関口があり、審査20日、恋人の聖地を最も地域振興に活用した団体に長野県大町市を選び、第1回観光交流大賞を贈った。

同センターは、これまでに全国で209カ所の恋人の聖地を選定しているが、聖地を生かした取り組みを表彰するのは初めて。

千夫・観光課長は「今回

の受賞を励みに、恋人の聖地を地域振興に一層役立てていきたい」と話した。

恋人の聖地は「非婚、少子化対策と観光地の活性化」をテーマに、06年から選出。埼玉を除く46都道府県の公共機関が管理する132カ所と、民間施設77カ所が選ばれている。

「恋人の聖地」活用

第1回大賞は
長野県大町市

NPO法人

プロポーズにふさわしい観光スポットを「恋人

プロポーズにふさわしい観光スポットを「恋人の聖地」に選定している。大町市には「立山黒部NPO法人地域活性化支援センター（静岡市）は、県側玄関口があり、審査20日、恋人の聖地を最も地域振興に活用した団体に長野県大町市を選び、第1回観光交流大賞を贈った。

同センターは、これまでに全国で209カ所の恋人の聖地を選定しているが、聖地を生かした取り組みを表彰するのは初めて。

大町市は、市内に点在する観光スポットを「北アルプスハートロード」と名付け、2013年4月、恋人の聖地に選定された。市は恋人の聖地などで13、14年度に婚活イベントを計6回実施し、計40組のカップルが誕生したことなどが評価された。